

## 指定管理者候補者の選定結果について

新潟市こども未来部こども家庭課所管の新潟市立乳児院について、令和6年8月19日より指定管理者を公募しておりましたが、以下のとおり候補者を選定しました。

<b>施設名</b>	新潟市立乳児院	<b>区分</b>	公募
<b>所在地</b>	新潟市中央区川岸町1丁目57番地1		
<b>施設の概要</b>	新潟市立乳児院は、児童福祉法第37条の規定に基づく入所型の施設である。様々な理由で、家庭で育てられない状況が起こった際に、児童相談所を通して乳幼児を一時的または中長期的に預かり、家庭に代わって養育し、あわせて退所した児童の家庭に対し相談などの支援を行うことを目的としている。		
<b>指定管理者 申請者 評価会議</b>	委員 内山 智絵 (公認会計士) 委員 玉木 尚子 (社会保険労務士) 委員 水品 きく枝 (新潟県中央児童相談所 所長) 委員 五十嵐 ふさい (ファミリーホームいからし 管理者) 委員 藤瀬 竜子 (新潟青陵大学福祉心理子ども学部 教授)		
<b>指定管理者 (候補者)</b>	社会福祉法人 愛宕福祉会 代表者 理事長 石崎 昂一 住 所 新潟市東区大山2丁目13番34号		
<b>指定期間 (予定)</b>	令和7年4月1日～令和12年3月31日		
<b>選定理由</b>	<p>指定管理者候補者の選定にあたっては、1団体から申請があり、新潟市立乳児院指定管理者申請者評価会議において、上記申請者から提出を受けた事業計画書等について、基本方針が公の施設の管理運営を行うのにふさわしいこと、施設の効用を最大限に発揮し管理経費の削減が図られること、事業計画に沿った管理を安定して行う能力を有していることを選定基準に評価を行った。</p> <p>その後、評価会議における各委員からの意見と評価結果を参考に総合的に検討した結果、上記申請者は現指定管理者であることを踏まえ、法人として培ってきたノウハウやネットワークを活かした人材育成や職員配置をはじめ、養育・支援についての取り組みが優れているほか、家庭・里親への支援、関係機関等との連携・協力体制が適切であり、指定管理者としての業務遂行能力を有すると認められるため、指定管理者候補者に選定することとした。</p> <p>なお、候補者選定の参考とした評価会議における評価結果は、別表のとおりである。</p>		
<b>現在の指定管理状況との主な変更点</b>	開設後、10年間続けてきた専門養育、親子関係の構築、退所後の支援、一時保護、予防的支援の5つの柱を基盤として、ケアの質の向上を図り、施設運営・養育支援の更なる強化を図る。		
<b>スケジュール</b>	第1回評価会議 8月8日 ※仕様書・選定基準・目標管理型評価項目の決定 公募要項等配布 8月19日～30日 公募説明会 9月2日 質問受付 9月2日～9日 申請受付 9月2日～27日 第2回評価会議 10月15日 今後、市会での審議・議決を経て、指定管理者に指定される。		
<b>所管部署 (問い合わせ先)</b>	こども未来部 こども家庭課 こども家庭支援グループ TEL : 025-226-1195 (直通) E-mail : kodomo.k@city.niigata.lg.jp		

別表（評価結果）

	選定基準・評価項目		配点	候補者	
評価表 による 評価	基本方針	申請の動機	30点	24.2	
		運営理念・基本方針	50点	40.0	
	施設の効用を最大限に発揮し、管理経費の削減が図られる	予算の範囲内での適正な執行及び経費節減の取り組み	30点	23.6	
		ニーズの把握及び事業改善	50点	38.2	
		養育、支援の具体的な取り組み	70点	58.6	
		家庭、里親への支援の具体的な取り組み	70点	57.8	
		自立支援計画、記録についての具体的な取り組み	50点	41.0	
		支援体制の構築（支援向上のための取り組み）	70点	53.6	
		地域との連携等への取り組み	50点	39.6	
		苦情等への対応	30点	22.8	
	事業計画に沿った管理を安定して行う能力を有していること	財務状況・収支計画	30点	23.8	
		事業実績	70点	57.0	
		従事者の雇用・労働条件	100点	72.0	
		人材育成	70点	53.4	
		安全管理体制	50点	38.6	
		緊急時の対応	50点	37.6	
		個人情報保護、情報公開、コンプライアンス、ワークライフバランス	30点	23.6	
		地域経済振興及び雇用確保の取り組み	100点	76.6	
	合計			1000点	782.0
	評価表 以外の 評価	総合実績評価による加（減）点		—	30.0
市内中小企業者等への加点		—	0.0		
合計			1000点	812.0	
【参考】100点換算			100点	81.2	

※点数は、評価会議の委員5名の平均

【参考】は評価表による評価部分の合計点を100点に換算した数字